

○高等植物分布資料 (51) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (51)

○チュウゼンジスゲ *Carex longerostrata* C. A. MEYER subsp. *pallida* T. KOYAMA
青森, 岩手, 宮城より茨城県の表日本側に分布がいられているので, 当然阿武隈山系にも自生すると考察されるが, 未だ記録はなかった。1966 年 6 月 12 日に, 阿武隈山系の大滝根山の海拔約 1000m の登山道側方の草原より一株だけ採集した, 他所に見られなかったし, 現在まで記録がなかったので非常に少ないものと思う。

○ハマアオスゲ *Carex breviculmis* R. BR. subsp. *fibrillosa* T. KOYAMA 1966 年 6 月 3 日に, 会津若松市の西部を流れる大川の中州で, カワラニガナ, カワラホウコ, アブラシバ等の自生する砂原に点々と叢生するのを採集した。県内では未だ記録されず, 尚内陸の自生は栃木県以外には知られてないと思うので報告する。

○ホスゲ *Carex senanensis* OHWI 福島県では新潟との県境六十里越で, 星大吉氏の採集があるだけだが, 1966 年 8 月 8 日, 南会津郡楡枝村燧岳の登山道そばの海拔 2100 m 程のところに相当量よく生育しているのを確認した。(会津若松市 斎藤 慧)

○シデコブシ *Magnolia stellata* Maxim. 本種の自生地域の詳細は井波一雄氏によって明らかにされた。それは岐阜県東濃地方から愛知県矢作川沿岸にわたるもので, 西南限は名古屋市内までであった。1966 年 8 月知多半島のほぼ中央部常滑市南部の湿地で数株発見した。本種と同一分布を示すシラタマホシクサ・ウンヌケが知多半島中央部あるいは南部まで分布していることがわかって現在の現在, 今度の発見でより一層三者の同一分布がたしかめられたわけである。

○ミカワシオガマ *Pedicularis resupinata* L. var. *microphylla* Honda. 1966 年 9 月, 上記シデコブシの自生する湿地と, 同じく知多の武豊町の計三ヶ所で発見した。名のとおり愛知県三河地方と, 岐阜県東濃の一部それに浜名湖周辺に分布している。花期は母種シオガマギクよりやや遅く 10~11 月である。(愛知教育大生物科 中西弘樹)

■佐藤達夫: 植物誌 A5 版 pp. 221, pl. 102. 雪華社 1966. 12. 15 (第 1 刷) 身近の植物 102 種の随筆的説明文を下半頁に, その対頁に著者自身の写生図を配した。本書は“植物詩”とも称すべきもので, 著者の詩的愛情がおのの植物に凝縮している点に大きい特長がある。図はアカデミックでもなければ職業的の影もなく, それでいて植物の自然の形態がもっとも美しい形で, 克明に正確に表現されている。描法には飯沼慾斎の草木図説を思わせる白黒の面の対比があり, また西洋ハーバルに見られる簡素化があるが, それでいて最も現代風の美と正しさを発散する。比喩的に云えばアンリ・ルソー版植物誌である。短歌の雑誌「コスモス」に 10 年近くも連載された絵と文をもととして, 相当内容を入れかえたものであるという。それに著者は永年野外で植物をじっくり観察して来た人である。本書が多くの読者を引きつけているのは, そこにそれだけの土台があるのである。(津山 尚)